

北海道旭川東高等学校〈定時制〉令和7年度学校経営シラバス

校訓 生をよこべ 矩にしたがえ 全力をつくせ	スクール・ミッション (1) 社会人としての基本的な資質を身に付け、地域の課題に対して主体的に考え、取り組むなど、自ら課題解決していく生徒を育成する。 (2) 豊かな人間性や社会性を培い、自立した社会人・職業人となる生徒を育成する。 (3) 学校教育目標と学校標語「シマレ ガンバレ」に基づき、社会人としての基礎・基本を身に付け、持続可能な地域の創り手としての資質・能力を身に付け、社会に貢献できる有為な人材を育成する。	育成する生徒像 (1) 基本的な生活習慣の確立に向けて、自らの感性や創造性を磨く生徒。 (2) 持続可能な地域の創り手としての資質・能力を身に付けた生徒。 (3) 心身ともに健全で、思いやりの心と感謝の気持ちで挨拶し、笑顔で生活できる生徒。 育成を目指す資質・能力（旭東 DP） (1) 行動力 (2) 協働力 (3) 自己指導力	学校標語 『シマレ ガンバレ』 （昭和8年制定） 『挙校大和』 （昭和32年制定）
-------------------------------------	--	---	--

- 経営方針**
- 1 スクールミッションを果たすため、保護者等や地域と協働して不断の改善を行う。
 - 2 今日的課題の解決に積極的に取り組む。（授業改善、学校 DX、働き方改革、Well-being の向上）
 - 3 教職員が「学び、学び合う」学校、生徒が主語になる学校づくりに努める。

教育活動

領域	中期目標	今年度目標	目標達成のための具体的方策・評価の観点	関連分掌等
学習指導	意欲的に学び続けることができる力の育成	教育課程の充実	学習指導要領を踏まえて、人間性豊かな生徒を育成し、生徒・保護者等や地域等の負託に応える教育課程を編成・実施・評価し、改善するPDCAサイクルを確立することができたか。	教務部、各学年、各教科
		生徒の自己肯定感の向上	学習活動をととして「わかる」「できる」喜びを実感し、学ぶ意欲の向上を図りながら、生徒自身があり方や生き方に結びつくよう取り組むことができたか。	教務部、各学年、各教科
		授業規律に係る自律的行動の促進	不用意な遅刻・欠席・早退をなくし、授業を受けるための基本的マナーや規律について生徒が理解し、自ら律して行動するよう取り組むことができたか。	教務部、生徒指導部、各学年、各教科
生徒指導	共通理解と生徒理解の上に立った、自覚と責任を伴う自律的な行動の育成	行事等への自主的・主体的参加	学校行事等において、身に付けるべき資質・能力や目的を目指し、生徒自身が自主的・主体的に学校行事等に参加できていたか。	生徒指導部、各学年
		自己指導力の向上	学習や生活における生活心得について、生徒自身が自分事として自主的に守る姿勢を身に付け、社会規範遵守の姿勢を育てることができたか。	生徒指導部、各学年
		いじめ防止対策の充実	法令や条例、学校いじめ防止基本方針に基づいて、「いじめ見逃しゼロ」を目指し、生徒に寄り添いながら組織的に対応するとともに、方針の周知及び見直しに際しては、生徒・保護者等及び地域に意見を求めるなど、適切に対応できているか。	生徒指導部、各学年
		諸活動を通じた人間関係づくりと人格形成	生徒自身が学校行事や部・同好会活動等に積極的かつ継続的に参加し、よりよい人間関係や人格形成を図れるよう努めていたか。	生徒指導部、各部顧問
進路指導	体験的な学習をととした中長期的なキャリア形成	キャリア形成の充実	総合的な探究の時間等において外部支援団体の講演等を活用し、マナー習得や就労意欲につながるよう取り組み、生徒自らがキャリア形成を図れたか。	教務部、各学年
		生徒の状況を踏まえた適切な進路指導の実践	保護者等の理解と協力のもと、生徒自らが適切な情報を選択して早期に進路目標を定め、自己実現に向けて主体的に取り組んでいたか。	教務部、各学年
		総合的な探究の時間の充実	総合的な探究の時間で課題を設定し、その解決に向けて取り組むとともに、そこで身に付けた見方や考え方や教科で身に付けた見方や考え方の往還をととして、生徒が自身のあり方や生き方に生かすよう取り組んでいたか。	教務部、各学年
健康・安全指導	発達支持的指導による自己管理能力の育成	個別支援体制による自立的生活の確立	教職員が生徒個々の家庭環境や困り感を把握し、支援が必要な生徒の指導計画を作成・共有する中で、生徒自身が社会人としての基本的な資質を身に付け、自立的な生活を確立できたか。	生徒指導部、各学年
		自己管理能力の向上	危機管理マニュアルに基づき、健康で安心・安全な学習環境を維持し、生徒自らが自己管理能力を身に付けることができたか。	生徒指導部、各学年
		自己理解の深化と人間性・社会性の獲得	客観的なアセスメントを活用し自己理解を深めるとともに、発達支持的指導をととして多様性を認め合い、生徒自身が豊かな人間性や社会性を身に付けることができたか。	生徒指導部、各学年

学校経営

領域	中期目標	今年度目標	目標達成のための具体的方策・評価の観点	関連分掌等
地域に信頼される学校づくり	保護者等や地域との協働	学校評価の活用	学校評価を真摯に受け止め、具体の改善につなげることができたか。	教務部、教頭
		積極的な情報発信	教育活動を適宜配信し、中学生、保護者等、地域のニーズに応える発信ができていたか。	教務部、教頭
		保護者等のニーズ把握	保護者等面談・三者面談、家庭訪問、授業参観等、保護者等の参加・交流の機会を増やし、協力と支援を得ながら相互理解を深めることができたか。	各分掌、学年、教頭
組織運営	今日的課題への対応	会議等の効率化	DXの推進、資料の事前配布や説明の簡略化など、目的を明確にした効率的な会議となっているか。	各分掌
		分掌組織の活性化	月例の分掌会議や定期的な委員会を実施し、各分掌・委員会の課題を明確にし、改善に向けた取り組みを検討・実施できたか。	各分掌、各委員会
		働き方改革の取組	教職員の意見を積極的に取り入れるなど、持続可能な学校体制の整備が図られたか。	各分掌
教職員の資質向上	本校教職員としての自覚と責任の共有	授業研究の充実	生徒の実態を把握し、個別最適な学びと協働的な学びを保障する授業改善に取り組むとともに、生徒の資質・能力を伸長するために、学校 DX を推進することができているか。	教務部、各教科
		校内研修の充実	教員自身が「学び、学び合う」ことで、生徒のロールモデルとなっているか。また、学びのねらい（目的）を明示し、生徒が成就感や達成感を味わえるよう振り返りの機会を設け、観点別評価による指導と評価の一体化が図れているか。	管理職、教務部、各教科
		不祥事防止のための職場環境の整備	教職員同士に嗜好や愚痴を共有できるコミュニケーションがあり、不祥事が起こりにくい職場環境となっているか。	管理職